



ルフナ大学農学部

Faculty of Agriculture, University of Ruhuna



スリランカ民主社会主義共和国

●学部学生 約1100人 ●大学院生 約200人 ●教職員 約70人

ホームページ <https://agri.fohss.lk/>

交流協定締結年月日：2023年2月24日 主管学部：農学部



<https://agri.fohss.lk/>より抜粋

国際交流の特色

1978年に設立されたルフナ大学は、スリランカ南部の人々が長年にわたって渴望していた地域内の大学として、1984年に大学の地位に昇格しました。現在、ルフナ大学は7つの学部から構成されています。農学部はその先駆的な学部の一つです。現在、農学部には7つの学術部門があり、それぞれ農業生物学、農業経済学・普及、農業工学、動物科学、作物科学、食品科学・技術、土壌科学が含まれています。この学部では、農業資源管理・技術の学士（BSc）、農業ビジネス管理の学士（BSc）、グリーンテクノロジーの学士（BSc）という3つの特別学士課程を提供しており、すべてのコースは英語で行われています。年間の入学者数は、1978/79年の15人から2011年には280人へと増加し、学部内の学部学生数は約1100人になりました。また、学部は、地元および国際的な現代的なニーズに応えるために、5つの修士課程を提供しており、これには研究によるMPhilおよびPhDの学位も含まれています。各学術部門では、学部および大学院レベルの教育と研究のための設備と実験施設が整備されています。

交流実績（令和4年度）

年度	R4
受入・派遣	
学生の受入	0
学生の派遣	0
研究者・職員の受入	1
研究者・職員の派遣	0
オンライン交流参加者（本学）	2
オンライン交流参加者（相手機関）	0

教員からの声

連大の卒業生であるSudarshanee先生が母国スリランカのルフナ大学で教授となり、彼女の学生のAruna君が、2023年10月から国費留学生として、研究室メンバーに加わりました。現在は、研究材料であるイネの収穫作業や遺伝子源の保存作業などに参加し、丁寧に取り組んでくれています。また、日本語の授業を受け、日本での生活基盤を整えています。次年度から、AAP特別プログラムの大学院生として研究を継続する予定です。Aruna君の初めての作業や研究においても真摯に取り組む姿勢は、研究室メンバーのモチベーション向上にも繋がっています。

農学部准教授 杉田 左江子

学生からの声

I am a Master student from the University of Ruhuna, Sri Lanka. I am working in Laboratory of Plant Molecular Breeding of Kagawa University from the October 2023 as a research student under the Supervision of Professor Sugita Konishi Saeko. This was the first experience out of my country. I have very limited understanding about Japanese language, and I was in an uncertainty prior to come to Japan. However the lab mates and the university staff members are generous and always ready to cooperate. But now I am in full confidence with the conditions here, so I feel language is not a barrier. My invitation is for you to team up with Kagawa University.

Aruna Jayasinghe

BSc in Agriculture, University of Ruhuna, Sri Lanka

